



全トヨタ労働組合連合会 結成50周年に寄せて

日本労働組合総連合会

会長

芳野 友子

全トヨタ労働組合連合会結成50周年を心よりお喜び申し上げます。

半世紀にわたって「トヨタはひとつ」との基本理念を掲げて、貴連合会の労働運動が継続してきたことは、この間に貴連合会の取り組みに携わられた全ての役員・組合員の皆様がこの基本理念を心に刻み、一丸となって取り組んでこられた歴史そのものであり、お一人おひとりの皆様のご努力とご苦勞に衷心より敬意を表します。

貴連合会を取り巻く環境は、近年、大きく変化しており、特に40周年から50周年にかけての10年間は、東日本大震災をはじめとする災害やコロナ禍による事業への深刻な影響を乗り越えながら、同時に、デジタル技術の革新的な進化による「100年に一度の大変革期」を歩み続けておられます。半世紀にわたる不断の努力が、このような困難な状況を乗り越え、新たな環境へチャレンジし続ける基盤となっているものと思います。

私たち働く者を取り巻く環境も、働き方改革と称した大変革期が到来しつつあり、これまでのルールや慣習が見直されようとしています。このような大変革期の真っ只中において、一人ひとりが主体性をもちながら仲間とともに新たな時代へチャレンジすることが大切ではありますが、一人では立ち向かうことのできない仲間もいるからこそ、歩幅の異なる一歩を、大きなひとつの歩みとするためにも、労働運動の役割がますます重要になっているものと思います。貴連合会の取り組みが、これからの時代を歩む組合員の皆様の背中を押し、勇気を与えるものとなることを期待しております。

50周年という節目の年が今後のさらなる発展の通過点となり、新たな歴史を紡いでいく幕開けの年となりますよう、ますますのご発展を祈念しております。組合員の皆様のより一層のご活躍とご繁栄を心よりご期待申し上げます、50周年に寄せるお祝いの言葉とさせていただきます。



全トヨタ労働組合連合会 結成50周年に寄せて

全日本自動車産業労働組合総連合会

会長

金子 晃浩

全トヨタ労働組合連合会結成50周年を、自動車総連に集う79万1千人の仲間を代表し、心からお祝い申し上げます。

全トヨタ労働組合連合会は、自動車総連結成の機と同じくして1972年に74組合、10万人の仲間の結集の下に発足されました。そしてそれ以降、いつの時代も健全な労使関係に裏打ちされた活動をもって、産業・企業や地域の発展とグループの仲間の幸せのために諸活動に精力的に取り組まれ、また自動車総連運動の推進に際しましても、名実ともに常にその先頭に立ち牽引し続けてきていただきました。全トヨタ労働組合連合会の神髄は、基本理念である「トヨタはひとつ」そして「労働条件の長期安定的向上」の体現にあると思っています。今日に至るまでにいかに幾多の困難に直面してきたかは想像に難くありませんが、この半世紀もの長きにわたり、常にお互いの立場を尊重し合いながらひとつにまとまり、目指すべき労働運動を確実に成し遂げてこられました。これまでの歴史を積み上げてこられました多くの先輩方、関係者の皆様の並々ならぬご尽力に対しまして、心より敬意と感謝の意を表します。

現在の日本の自動車産業を取り巻く環境は、CASE・MaaS、GXやDXへの対応など、大変革の真っ只中にあります。裾野の広い日本の自動車産業が今後も維持・発展し、国の屋台骨を支え雇用の受け皿であり続けるためには、これまでの常識や潮流にとらわれず常に新しい事に挑戦していく姿勢が肝要です。自動車総連はこれらの変化をチャンスと捉え、今後も組合員に、そして世の中に必要とされる組織であり続けるべく尽力してまいります。皆様にもなお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、全トヨタ労働組合連合会が結成50周年を一つの契機とし、キラキラと輝き笑顔に満ちた明るい未来に向かって、ますますご発展されますことを心よりご祈念申し上げ、自動車総連を代表してのお祝いの言葉といたします。ともに頑張りましょう。

祝 辞

Congratulatory address



「トヨタらしさ」を土台に、
クルマの未来を変えていこう

トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長
佐藤 恒治

全トヨタ労働組合連合会の結成50周年、心からお祝い申し上げます。

この50年間、何度も厳しい事業環境に直面してきた中で、「日本のモノづくりを守り抜こう」という強い想いのもと、トヨタグループが労使一丸となって動くために尽力されてきた全トヨタ労連の皆様に深く感謝申し上げます。

この節目の年に、トヨタ自動車では豊田章男会長から新体制への経営継承が行われました。正式な発足に先立って私たちが最初に実施したことは、労使協議の場を通じて労働組合・従業員と向き合うことでした。トヨタにおいて何よりも重要な基盤は「人」であり、本音で対話をする「労使相互信頼」だからです。

トヨタグループにおいても全く同じだと思います。私たちの最大の財産は「人」です。クルマを作るのは人であり、そこには開発から製造・輸送・販売まで、会社を超えてさまざまな仲間が関わっています。一人ひとりの熱意や発意があればこそ、良いモノが作り出せる。だからこそ、私は「クルマづくりはチームプレー」という想いを何よりも大切にしています。

そして、トヨタグループには、トヨタ生産方式や徹底した現場主義、改善文化など、創業以来、大切にしてきた共通の価値観があります。こうした「トヨタらしさ」を、労使で、グループ全体で共有し、一人ひとりが実践していくこと。これが全トヨタ労連の「トヨタはひとつ」という理念の根幹にある想いでもあり、私たち労使が継承し続けていくべきものだと思っています。

大変革期の今は、変化が速く、先が見通しにくい時代です。だからこそ、とにかく行動することが重要だと思っています。トヨタグループの強みを生かして、みんなで挑戦と失敗を繰り返す。それが必ず、クルマの新しい価値や、人々がもっと笑顔になるモビリティ社会の実現につながっていきます。「クルマの未来を変えていこう」を合言葉に、そして「トヨタらしさ」と労使の強い絆を基盤に、トヨタグループが自動車産業の変革をリードできるよう、ともに汗をかいてまいりたいと思います。

全トヨタ労連の皆様のお力添えのもと、次の50年もトヨタグループがさらなる発展を遂げることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



労使が一体となり、
より良い未来を創りましょう

協豊会
会長
池田 育嗣

全トヨタ労働組合連合会の皆様、この度は創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

1972年に74組合、10万人でスタートした全トヨタ労連は、現在では加盟300組合、35万7千人の大きな組織になられ、労働界のリーダーとして自動車産業の発展に輝かしい功績を残されてきたことに敬意を表するとともに、そのご隆盛をお慶び申し上げます。

近年、3年間にわたるコロナ禍での就労制限や半導体不足をはじめとするサプライチェーンの混乱、原材料・物価高など、社会・経済環境が大きく変化してきました。その中で、カーボンニュートラルへの対応、デジタル・トランスフォーメーション推進など、新たな将来への課題が生まれました。

これらの課題に正面から取り組み、未来のモビリティ社会の実現に向けて、協豊会会員各社は労使関係をさらに重視し、チームワークで「幸せの量産」を目指すトヨタ自動車とともに「ものづくり」「ひとづくり」を高めていくことが、仲間の一員として果たすべき役割であると思っています。

トヨタ自動車の「もっといいクルマづくり」には、「より良い未来を一緒に創りましょう」という強い想いが込められていると受け取っています。

労使が一体となり、自発的に働く仲間が、その目的に共感し、相互信頼でつながっていくことこそが、真の競争力の原点、成長をし続ける原動力であります。それがより良い未来へつながっていきます。

私ども協豊会もトヨタ自動車とともに、これまで以上に労使の相互理解と信頼のもと、明るく元気な未来を創る活動に取り組んでまいります。

全トヨタ労働組合連合会が、労働界のリーダーシップを益々発揮され、未来に向かって輝かしい発展と功績を築かれますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



DNAの伝承により、明るい未来へ

トヨタ自動車販売店協会

理事長

金子 直幹

全トヨタ労働組合連合会結成50周年、誠におめでとうございます。

貴会は昭和47年結成以来「トヨタはひとつ」を旗印に、トヨタの製造・輸送・販売店が一体となった組合連合体として、働く人の生活の安定、そして企業の健全なる発展に大きく寄与され、長年にわたるご尽力に対し、心より敬意を表します。

さて、ご承知の通り、今、自動車産業を取り巻く環境は、「CASE」「MaaS」といった言葉が象徴するように、100年に一度の大変革期の渦中にあり、従来の自動車メーカーのみならず、異業種から参入する新たなライバルの出現など、先の読めない厳しい時代に直面しております。

これまでトヨタは、幾度となくさまざまな困難に直面してまいりましたが、その都度、トヨタ関連各社は、労使が一体となり、総力を結集することで、高い壁を乗り越え、厚い壁も打ち破り、新たな世界を切り開いてまいりました。そうした先人たちの弛まぬ努力によって築かれた労使の絆の上に、私たちの今日の活動が成り立っていることは言うまでもございません。その先人たちが培ってきた固い絆は、今を生きる私たちにもDNAとして、脈々と受継がれ、しっかりと根付いております。

私たちに課せられた使命は、この熱きDNAを次世代につないでいくことでございます。この伝承こそが、答えのない100年に一度の大変革期を乗り越え、新たな未来を切り開くオールトヨタの強さの源泉であり、未来への第一歩であると確信いたしております。

全トヨタ労連の皆様には、労使が相互信頼のもと、これからもトヨタを支える両輪として、より良き労使関係を築き、この厳しい時代を乗り越え、明るい未来に向けて、オールトヨタ繁栄の原動力となってくださることを大いに期待し、結成50周年のお祝いとさせていただきます。



全トヨタ労連結成50周年を祝して

国民民主党 参議院議員

浜口 誠

全トヨタ労働組合連合会結成50周年を、心からお祝いを申し上げます。これまでの50年の歴史を支えてこられた諸先輩の皆さん、現役役員の皆さん、全トヨタ労連に集う各加盟組合の労使の皆さんなど、全トヨタ労連の活動に関わってこられた全ての皆さんのご努力、ご尽力に敬意と感謝申し上げます。また、2023年6月10日に行われた50周年に感謝する会にも、多くのOB・OGの皆さんが、出席されておられました。全トヨタ労連の歴史の重さ、労働運動の素晴らしさ、人と人との絆、つながりの大切さを改めて実感する貴重な機会となりました。

小職は、今から20年前、全トヨタ労連30周年を迎えたときに、副事務局長を拝命し、HAPPY30と銘打って行われたさまざまな記念事業にも関わる機会をいただきました。30周年から、20年が経過したかと思うと感慨深いものがあります。当時は、各加盟組合の賃金実態把握や個別賃金への取り組み、長時間労働是正などの働き方改革、MY（自ら、みんなで、やろう！）21運動の定着など、各加盟組合の皆さんと侃々諤々と議論したことが、良い思い出です。これまで全トヨタ労連が大切にしてきた理念や取り組みは、今の活動にも、より進化しながら、つながっていると確信しています。

私は、全トヨタ労連の皆さんをはじめ、自動車産業で働く皆さんからの力強いご支援をいただき、国会に送り出していただいております。時代とともに、政治が解決すべき課題も変わりますが、自動車産業が直面するカーボンニュートラルへの対応、自動車関係諸税のユーザー負担軽減、自動車整備士不足対応、半導体などの重要部品対応、少子化対策など、今後も現場を知る全トヨタ労連の皆さんと連携し、産業政策や働く者の政策などを、現場目線で推進していきたいと考えます。

最後になりますが、「トヨタはひとつ」「健全な労使関係の構築」など、全トヨタ労連が守ってきたものをしっかり継承し、新たな歴史を築かれることを祈念し、お祝いの言葉といたします。